

全校集会を実施しました

昨日、全校集会を行いました。今回の全校集会のねらいは「授業・学習の充実」です。

担当の森山先生から、「やのめっ子 10の約束」のお話があり、授業中にしっかりと思考力・判断力・表現力を身につけ、学びを深めるための約束を確認・復唱しました。10の約束には、学習内容をしっかりと身につけるために必要不可欠かつ大切なポイントとともに、家庭での躾と同じような大切なマナー・ルールも含まれています。



また、この10の約束に加えて、主体的に、そして学級集団全体が伸びていくために大切にしたい3つの約束をみんなで確認しました。

- 友だちと一緒に学ぶこと
- 疑問を大切にすること
- 振り返りを大事にすること



集会の締めは今月の歌。6月は「世界中の子どもたちが」です。音楽担当の由美子先生から「手話をしながら歌ってみよう！」という提案があり、子どもたちは興味を持って手話を一生懸命覚え、楽しく歌いました。

学級で手話をしながら歌っている5年1組の児童が、ステージ上で、上手にお手本を見せながら歌い、みんなの拍手が沸きました。

新しいことにチャレンジし、できるようになるのはとてもワクワクして楽しいですね。授業や学びも同じで、新しいことを身につける楽しさを味わって、進んで学びに向き合い、友だちと一緒に伸びていってほしいと思います。

10の約束の **姿勢** の部分は、学校だけではなく徹底できません。特に姿勢や返事、話の聞き方などは、将来にわたる健康に影響したり、常識・マナーとして人柄が伝わったりする部分です。今から育ていきましょう。普段の生活の中で、ご家族の方からも声かけをお願いします。

家庭と学校ががっちり手を繋ぐ2年目に

やのめっ子 学習をするための10の約束

- ①必要な学習用具を準備します。**
学習に必要なものだけ筆入れに入れておきます。
鉛筆は家でけずってきましょう。
折れたりした場合は休み時間のうちにけずっておきましょう。
- ②机の中を整理とんします。**
- ③次の授業の準備をしてから、休み時間にします。**
- ④チャイムの1分前には遊びをやめて席につきます。**
- ⑤授業のはじめ・おわりのあいさつをしっかりとします。**
- ⑥いすに正しい姿勢ですわります。**
- ⑦鉛筆を正しく持ちます。**
★ 書写の教科書を見てみよう！
- ⑧名前を呼ばれたら「はい」と返事をします。**
- ⑨友だちや先生の話を静かに最後まで聴きます。**
話は「目」と「耳」と「心」で聴きましょう。
- ⑩その場所にあった声の大きさと話します。**
★ 「声のものさし」を見てみよう！



お子さんの視力、守れていますか？

小学生の36% 視力1.0未満 ロート製薬 アンケート

小学生の36.7%は裸眼の視力が1.0未満だったとするアンケート結果をロート製薬が公表した。小学生の視力は低下傾向が続いているとされる。10日は「こどもの目の日」で、同社や専門家はデジタル機器の使用を控えるといった目をいたわる必要性は子どもでも重要と訴えている。

調査は親を対象に実施。眼鏡やコンタクトレンズを使う子どもの割合は21.8%で、理由の約7割が近視だった。1.0未満を対象に生活への影響を聞くと「授業で黒板が見えにくい」との回答が47.6%、「目が疲れる」とも16.3%あった。

裸眼視力が1.0以上の子どもは、デジタル機器の接触時間が1日約73分、屋外活動は約72分だった。0.2以下だと、デジタル機器が約95分、屋外活動は約49分だったという。

小児眼科が専門の東邦大学医療センター大森病院の松村沙衣子講師は「近くを見る時間が多いと近視になる恐れがある」と指摘し「読書や勉強をするときは30分ごとに休憩を入れ、目のケアをしてほしい」と助言。外遊びも推奨した。

小学生の裸眼視力

0.2以下	7.0%
0.3-0.6	13.1%
1.0未満	36.7%
0.7-0.9	16.6%
1.0以上	63.3%

調査対象は10歳未満の子どものうち、ロート製薬の視力検査を受けた子ども1802人のデータによる。

小学生の視力に関する記事です。視力 1.0 以上の子どものICTメディア接触時間は1日約73分、屋外活動は72分。視力 0.2 以下の子どもは、メディア接触時間が95分、屋外活動は約49分でした。長時間のメディア使用と屋外活動の少なさが視力低下に大きく影響しているようです。お子さんの視力を守るためには、メディア使用の時間制限と外遊びがカギです！